

AIを活用したクラウドによるネットワーク一元的管理およびセキュリティ強化による生産性向上

取組概要

■事業概要

当社は、包装資材の卸売を主業とし、県内外の複数拠点を通じて事業を展開している。複数拠点を運営する中、ネットワーク管理が特定の担当者に依存する状態（属人化）が続いており、IT人材の確保が困難な中、管理体制の維持と業務効率化が急務の課題となっていた。また、全拠点のインターネット通信が本社経由に集中する旧来の構成（IP-VPN）を採用していたため、通信速度の低下、本社でのトラブル発生時に全拠点が影響を受けるリスク、障害対応のために担当者が現地へ出向く際のコスト増大といった問題も生じていた。これらの課題を解決するため、クラウドを活用したネットワークの一元管理とセキュリティ強化を目的に、今回のデジタル導入を実施した。

■クラウド型ネットワーク管理ソリューション・セキュリティ機器の概要

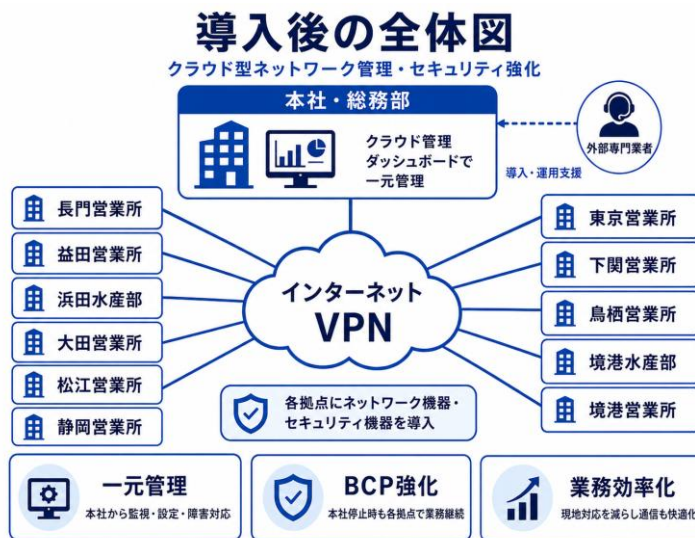
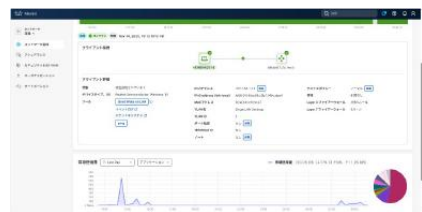
本事業では、以下の2製品を県内外の全拠点に導入した。

Meraki MX67（クラウド型ネットワーク管理機器）インターネット経由でネットワーク機器を遠隔から一元管理できる機器。AI（人工知能）による異常検知・障害対応・接続機器の管理が可能で、専門知識がなくても直感的に操作できる管理画面が特長。

NetStable（不正侵入防止システム）外部からの不正なアクセスを検知・遮断する国産のセキュリティ機器。既存のネットワークに容易に追加でき、日本語での設定・監視に対応し、自動でレポートを生成・送信する機能を搭載している。

■導入後の状況

本社から全拠点のネットワーク監視・設定・障害対応をクラウド上で一括管理できる体制を構築した。導入・設定は外部の専門業者と協働で実施し、現在は専任のIT部門を持たない総務部が主体となって継続管理している。また、導入と同時にPCの入替も行い、ネットワーク再構築と端末更新を一体的に推進した。



得られた効果・今後の課題

●効果

- ・専門知識を持たない担当者でも直感的に操作・管理できる体制が整い、特定の担当者に依存しないシステム管理の仕組みが構築できた
- ・AIによる異常通信の自動検知・アラート通知機能により、セキュリティリスクを未然に防止できる体制を整備した
- ・各拠点が独立してインターネットに接続できる構成へ切り替えたことで、在宅勤務での社内システムアクセスが可能となり、柔軟な働き方を支援できるようになった
- ・本社で停電が発生した際も他拠点の業務を継続できたことを確認し、災害時の事業継続対策（BCP）としての実効性を実証した
- ・平均通信待機時間：約3秒 → 約1秒に短縮
- ・障害時の現地対応コスト削減効果：年間約769,152円

●今後の課題

今回構築したクラウド型ネットワーク基盤は、事業拡大や新拠点追加の際にも柔軟に対応できる経営インフラとして継続活用していく。今後はMerakiのAIカメラの活用による新たなサービス提供も視野に入れ、IT専任の人材を持たない多拠点の中小企業でも、属人化の排除・遠隔管理・事業継続対策を同時に実現できる県内企業の参考モデルとなることを目指す。

【活用事業】

令和6年度

デジタル導入モデル支援事業助成金

企業概要

株式会社タカハシ包装センター

設立：1976年（昭和51年）7月

資本金：3,500万円

従業員：189名

所在地：島根県浜田市原井町3050-34

■包装資材・各種機械の販売、機械メンテナンス、自社製品の開発・販売、写真撮影・デザイン制作、漁港での荷役業務、運送業、国際物流・貿易支援